

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年1月31日

9名

事業所名 放課後等デイサービスらしさ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1			法令を遵守しています。
	2 職員の配置数は適切である	5	2			基準より多く配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	2	階段踊り場の安全対策が不十分だと思われる。	一軒家を利用しており、2Fが活動スペースのため、階段を利用することになります。昇降時には、職員が児童の下になるように徹底しています。また、踊り場に出るためには、2重のゲートを設置して対策をしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4	1		職員からの意見を吸い上げるために、業務改善シートを導入している。支援に関しても、PDCAサイクルが回るように検討する。児発管不在に關しても、早急に採用する。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・知りません。ベースが分からないので。	保護者向け評価表を活用しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	2	・分からない	当社ホームページに掲載しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	2	・分からない	現在は、利用者・社内の二者評価となっております。2019年度に第三者による外部評価を実施したいと考えています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		・行いたいという姿勢はとも見られるので。 ・研修をもう少し増やす。	社内・社外共に研修する機会を多く取り入れ、より専門性を高め、資質向上を行っています。研修回数も順次増やしていきたいと考えています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	2		児発管不在だから	できておりません。現状児発管不在のため採用を急ぎます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		児発管不在だから	できておりません。現状児発管不在のため採用を急ぎます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	2	今はそう思いません改善すべき点多々あり!	様々な年齢にあったプログラムの工夫や、個々の発達に合わせたプログラム作成や、集団行動の苦手な子どもも参加できるようなプログラムを工夫し、チームで立案しています。
適切な 支援の 提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	3	1	・いいえ。もっとバリエーションが必要! ・ある程度固定化は必要であるが、新しいことに取り組むことも必要か...	発達に応じ、難易度を上げ下げしあがら、能力向上を目指し、工夫したプログラムを作成しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	1	・休日との違いはよく分かるが、もっと細かく決めたいと感じる。 ・児発管不在だから	サービス提供時間の中で安心して過ごすことのできる流れを基本にし、気分転換する時間や、季節や天候に応じた課題を設定しています。また、休日や長期休暇には、外出を増やすなどの対応をしています。今後、会議の時間をとって、細かく設定していく事も検討します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		集団があまりできていないかも。VTとか計画はされているが、行っていない。	できておりません。現状児発管不在のため採用を急ぎます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				常勤職員会議、その他非常勤職員も交えた会議を毎日実施しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	2	・していないか、そこまで必要と思わない(朝にしているし) ・児発管や管理者は、送迎に出ないで対応すべき	業務日誌、個別記録を毎日作成しています。必要に応じてケース会議も実施しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	3		情報共有されてない事例もある。全員の意識統一が必要。	業務日誌、送迎票、サービス提供記録表、個別記録などを毎日徹底して記録を残し、行動分析や支援の方向性などを決め、支援の改善に努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	3		今ってますか?ベースが分からないので。	できておりません。児発管の採用を急ぎます。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	1		定期的に職員研修でもガイドラインを使用し、共通認識を徹底しています。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	1	・不明 ・社福が参加することがなかった	できておりません。児発管の採用を急ぎます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8				学校主催の連絡会には参加しています。都度、必要に応じて担当教諭との情報共有も行っていきます。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1		現在、医療的ケアが必要な児童は通所していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4		不明	保護者の了解を得た上で必要に応じて電話、見学などで情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1		電話、見学などで情報共有をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	1		積極的に研修には参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		4	そこまで必要ないと思う。	必要性があれば検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	2	分からない	現状参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2			連絡機を用い、なるべく保護者には情報を共有して頂くようお願いをしています。必要に応じて電話や面談で話す機会を頂き、共通理解を深める努力をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	3		現状できておりません。今後、研修等で保護者に寄り添う支援などのテーマを取り入れていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	3			契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	1		適宜行っています。必要に応じて他機関につなげることもしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	2		現状できていないので、年度始めに保護者会の企画を予定しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1			苦情があった際には、迅速に対応し、改善策を立て事業所内で徹底周知に努めると共に、区と学校にも報告書を送付しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				毎月一回活動内容や注意事項等を記載した会報を発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	8	1			個人情報に記載された書類等は、鍵付き書庫に保管しています。パソコンのパスワードはパスワードメーカー等で発行したものを使用し、定期的に変更しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2			障害特性、個々の発達に応じたツールを用いて意思疎通を図っています。また、教材で使用しているものを参考にしている場合もあります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	2		長期休みなどの前には、活動内容と営業時間の変更を記載した手紙を近隣に配布しています。また、地域の行事(防災訓練等)に参加し、交流をはかっています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	4	1	・保護者周知は分からない。 ・周知不足だと思う。	マニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。また、地域の防災訓練などにも積極的に参加しています。今後、契約時や、ホームページ等で緊急時対応との説明等を考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2			最低でも月に1回は避難訓練を実施したり、外出時に避難ルートを通り、避難場所の確認等も行っていきます。また、管轄の消防署、消防団の方々にも障害特性に応じた配慮をお願いできるよう分かりやすい資料をお渡ししています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			虐待防止に関しての研修を年に数回実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	1	保護者への説明がなされているかが不明	今後、身体拘束の了承の書面を作成し、保護者に確認予定です。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3			契約時のアセスメントでアレルギーに関しての調査を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1		共有を徹底することが必要だと思う	ヒヤリハット事例が起こった際は、職員内での周知を徹底しています。対象の児童の個別ファイルにもヒヤリハットのコピーを個々に収納しています。